

# 教育委員会会議録

令和元年12月23日(月) 午前10時00分 開会  
午前11時03分 閉会

## 1 議事日程

別紙のとおり

## 2 出席した委員等

長谷川洋教育長、広沢憲治委員、大須賀憲太委員、伊藤志のぶ委員、佐々憲一委員  
塩谷育代委員

## 3 説明のため出席した職員

新村和昭事務局長、横井英行次長兼管理部長、小林整次学習教育部長  
川村雄司生涯学習監、山田知子総合教育センター所長、稲垣直樹総務課長  
稲垣宏恭教育企画課長、宮川俊行財務施設課長、中田勝徳教職員課長  
稲葉均福利課長、大道伊津栄生涯学習課長、小島寿文高等学校教育課長  
伊藤克仁義務教育課長、鈴木能成特別支援教育課長、木村誠保健体育課長  
高橋亮太文化財保護室長、伊藤尚巳総務課主幹、坂川智総務課主幹  
長坂昌彦財務施設課主幹、高井俊直教職員課主幹、加納澄江高等学校教育課主幹  
太田佳永子総務課課長補佐

## 4 前回会議録の承認

長谷川教育長が各委員に諮り、前回の会議録は承認された。

## 5 教育長報告

長谷川教育長が各委員に諮り、報告事項(4)公立学校教員の懲戒処分については、人事案件のため、非公開において報告を受けることとした。

### (1) 令和元年12月定例県議会の概要について

稲垣総務課長が、令和元年12月定例県議会の概要について報告。

長谷川教育長が各委員に諮り、報告事項は了承された。

### (2) 愛知県教育委員会教育長給与条例の一部改正について

稲垣総務課長が、愛知県教育委員会教育長給与条例の一部改正について報告。

長谷川教育長が各委員に諮り、報告事項は了承された。

### (3) 令和元年度教育委員会所管12月補正予算について

稲垣総務課長が、令和元年度教育委員会所管12月補正予算について報告。

長谷川教育長が各委員に諮り、報告事項は了承された。

### (4) 公立学校教員の懲戒処分について

非公開において報告されたため、愛知県教育委員会会議規則第14条第3項の規定により、会議録は別途作成。

- (5) 令和3年度愛知県公立高等学校入学者選抜実施日程について  
小島高等学校教育課長が、令和3年度愛知県公立高等学校入学者選抜実施日程について報告。  
長谷川教育長が各委員に諮り、報告事項は了承された。
- (6) 令和3年度愛知県立特別支援学校幼稚部及び高等部入学者選考実施日程について  
鈴木特別支援教育課長が、令和3年度愛知県立特別支援学校幼稚部及び高等部入学者選考実施日程について報告。  
長谷川教育長が各委員に諮り、報告事項は了承された。
- (7) 懲戒処分取消請求事件について  
中田教職員課長が、懲戒処分取消請求事件について報告。  
長谷川教育長が各委員に諮り、報告事項は了承された。

## 6 請願

請願第10号 小牧工業高校事件について、すぐに、情報収集、報告書を提出させることを求める請願

長谷川教育長が各委員に諮り、「賛成者なし」により本請願は不採択とされた。  
〔委員の主な意見及び事務局の説明〕

(佐々委員)

報告に関する規定はあるのか。

(中田教職員課長)

平成22年3月26日付け事故発生等の報告についての通知を出しており、その中で、風水害等の災害による事故や、職員の死亡その他重大な事故等が発生した場合における学校からの報告手続等を示している。

(佐々委員)

公表の基準はあるのか。

(中田教職員課長)

例えば、不祥事に関する処分を行った場合については、懲戒処分の公表基準に基づいて、事案の概要を公表することとしている。

本件のような場合においては、特段公表基準を設けていないため、関係者の意向や事案の状況等を総合的に勘案し、個別に判断することになる。

請願第11号 超過在校時間「80時間以内（少なくとも）」達成の取り組みを求める請願

長谷川教育長が各委員に諮り、「賛成者少数」により本請願は不採択とされた。  
〔委員の主な意見及び事務局の説明〕

(広沢委員)

我々教育委員も大変関心を持っているが、様々な取組によって教員の多忙化解消プランの目標の達成状況はどうなっているのか。

(稲垣教育企画課長)

平成29年3月に策定した教員の多忙化解消プランでは、平成30年度までに達成すべき目標として、在校時間が月80時間を超過している教員の

割合について、小学校5%以下、中学校20%以下、高等学校5%以下、特別支援学校0%を目指すこととしている。

勤務時間外の在校時間が月80時間を超える教員の割合について、平成30年度は、小学校10.7%、中学校30.5%、高等学校11.7%であり、今年度、全ての学校で0%にするという目標の達成は、厳しい状況にあると考えている。

しかしながら、勤務時間外の在校時間が月80時間を超える教員の割合について、平成27年度数値の半減以下を目指すという平成30年度の目標に関して、市町村単位でみると、小学校では53市町村中11市町村、中学校では12市町村で達成しており、県立高等学校についても150校中53校、特別支援学校では29校中22校が達成という状況になっている。

こうした現状から、市町村や県立学校においても、教員の多忙化解消に向けた取組は進んできているものと考えているが、今後も各学校の状況を踏まえて具体的な方策を検討、実施することによって、目標達成に向けて引き続き努力していきたい。

## 7 議案

### 第30号議案 愛知県立高等学校学則の一部改正について

宮川財務施設課長が、令和2年度愛知県立高等学校生徒募集計画等に基づき、所要の改正を行う必要があるため請議。

長谷川教育長が各委員に諮り、全員一致により原案どおり可決された。

### 第31号議案 愛知県立高等学校の通学区域並びに群及びグループに関する規則の一部改正について

小島高等学校教育課長が、愛知県立豊橋西高等学校の学科改編を行うため、所要の改正を行う必要があるため請議。

長谷川教育長が各委員に諮り、全員一致により原案どおり可決された。

### 第32号議案 令和2年度学校教育（指導の方針）について

小島高等学校教育課長及び伊藤義務教育課長が、令和2年度学校教育についての指導の方針及び指導上の留意事項等を定める必要があるため請議。

長谷川教育長が各委員に諮り、全員一致により原案どおり可決された。

[委員の主な意見及び事務局の説明]

(大須賀委員)

資料6ページに男女共同参画社会とあるが、日本は女性の参画についてアジアの国の中でも下位となってしまっている。クオータ制という4人に1人女性がいなくてはいけないと法律で定めている国もある。発展途上国、先進国とで違いはあるが、そういったことまでしないと社会は変わらない。子どもたちへの教育も大事だが、大人の社会が変わっていかないと難しい。現在、学校現場における女性の割合は具体的にはどれくらいか。

(横井次長兼管理部長)

半分くらいは女性である。小学校・特別支援学校は女性が多く、中学校・高等学校は男性が多い。

(中田教職員課長)

平成30年度の数字であるが、小学校は64.3%、中学校は42.3%、高等学校は35.0%、特別支援学校では64.3%、全体で52.6%となっている。この数字は全国平均とほぼ同じである。

(大須賀委員)

学校に限っては女性が少ないというイメージはないが、かなり意識しないと変わっていかない。子どもたちに教えることからスタートとして、時間をかけて今まで実現できなかったことの実現を若い人に期待したい。

(伊藤委員)

教育行政調査において、各自治体の教育委員のうち女性の占める比率は高い。教員経験者等人材は豊かであるが、教育長となると女性の占める比率が急に下がる。管理職の女性の割合が少ない。子どもたちが見る場所で、働いている女性の姿を見せるという観点から、教員の女性の割合、管理職の女性の割合もであるが、もう1つ、自治体の女性の割合も気にかけていただきたい。

(長谷川教育長)

自治体の教育長は、教員出身者が多い。教員には女性が多いが、教頭・校長などの管理職になると少ない。今後は徐々に増えていくと思うが、課題を認識しながら対応していきたい。

## 8 協議題

なし

## 9 その他

なし

## 10 特記事項

- (1) 審議に先立ち、10月27日付で委員に就任した塩谷委員からあいさつがあった。
- (2) 長谷川教育長が今回の会議録署名人として大須賀委員を指名した。
- (3) 宮崎邦彦氏から、小牧工業高校事件について、すぐに、情報収集、報告書を提出させることを求める請願について口頭陳述したい旨の申し出があり、長谷川教育長が、前回会議録の承認後、5分以内に限り口頭陳述することを許可した。
- (4) 傍聴人 1名 記者 1名